

## 2022 年度学生による後期授業評価アンケートへの

### 教員からのコメント

#### ■日本国憲法

- ① 全般的に評価が高い傾向にあることから、概ね問題はないものと考えられる。
- ② ただし「4.勉強時間」では「1 時間未満」と「全くしない」が半数ずつと、予習・復習に掛ける時間が極端に少なく、また「6.難易度」では（「適切だった」が5名（62.5%）である一方で）「難しかった」が3名（37.5%）いたことや、「14.授業全体の理解度」で「そう思わない」が同じく3名（37.5%）いたことから、興味・関心を引いて授業外の自学自習を促す効果以上に、説明等のレベルが必ずしも適切でなく学習意欲を削いでしまう影響のほうが大きかった可能性がある。
- ③ 上記の3名が、6名履修していた日本語の不得手な留学生か否かによって、必要な対策は変わってくると思われる。授業内容というより日本語のみでの授業形態であることが本質的な問題だとすると、他の学生の学修の質保証という観点からは、説明のレベルを過剰に下げるわけにもいかず、これ以上の対応は事実上制限される面があるのも事実である。他方、日本人学生であった場合には、法律的な難しい言い回しをより簡単な表現に変えたり、より身近な事例を題材に取り上げるなどの工夫を凝らすことが考えられる。